

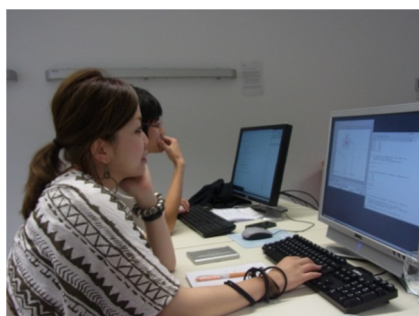
若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム (ITP)

バイオインフォマティクスとシステムズバイオロジーの国際連携教育研究プログラム  
ワークショップ参加レポート

Name : 鎌田 真由美

Title : IBSB2011 参加レポート

Workshop report : ITPプログラムのご支援により、2011年7月18~20日に、ドイツのベルリンにて開催された第11回 International Workshop on Bioinformatics and System Biology (IBSB) に参加させていただきました。IBSBは、若手研究者の教育研究交流を目的とし2001年より毎年行われているワークショップで、今回はフンボルト大学が主催となり開催されました。21・22日には、同プログラムの一環でサマースクールも同時開催され、そちらにも併せて参加させていただくことが出来ました。ワークショップでは、私はポスター発表と併せ、”Prediction of Protein Residue Contacts using Discriminative Random Fields with Mutual Information” という題目で口頭発表を行いました。自身の英語による表現力の無さを痛感しましたが、発表後にはいくつかコメントや質問をいただくことができました。また、同日行われたポスターセッションでは、口頭発表時に質問いただいた方だけでなく、多くの研究者の方と議論することが出来、今後の研究発展に対し大変有意義な意見を伺うことが出来ました。3日間のワークショップでは、先端の研究内容だけでなく、ボストンやベルリンの学生達の研究に対する意識や姿勢・プレゼンテーション力の高さを知ることが出来、とても刺激を受けました。サマースクールでは、フンボルト大学の学生とともに、コンピュータ実習を含めた講義を受けました。フンボルトの学生は、講義中わからないことがあればどんどん意見を述べ議論しており、主体性の強さを感じました。今回のワークショップとサマースクールで目の当たりにした他国の学生の学ぶこと・研究に対する姿勢は、自身の学問・研究に対する取り組み方を見詰め直すきっかけとなり、今後の研究生活に対する新たな決意と目標を立てることが出来ました。このような貴重な機会を与えてくださった先生、そしてITPによる参加支援に感謝するとともに、今回得た経験を必ず今後の自身の研究に活かして参ります。



(左上) 会場となった建物 (右上)口頭発表の様子.

(左下)サマースクールでの計算機実習 (右下)シュプレー川クルーズでのバンケット